

ツリークライミングに挑戦

障害のある子どもたち 豊橋で「さくらピア」

障害のある子どもたちが2日、豊橋市東田町の桜ヶ丘公園でツリークライミングを体験した。隣の市障害者福祉会館

「さくらピア」の主催。障害児の保護者の要望から2012年度から続けている。新型コロナウイルス禍で20、22年は中止



ツリークライミングに挑戦する子どもたち
＝豊橋市の桜ヶ丘公園で

しており、4年ぶりに開いた。

日本の普及 団体が協力

ツリークライミングは樹木を管理するために米国で開発された技法。1980年代にレジャー化した。米国出身で瀬戸市在住のジョン・ギヤスライトさんが2000年に普及団体「ツリークライミングジャパン」を創設している。

この日は知的障害や手足を動かすのが困難な6歳から44歳までの16人が参加。ギヤスライトさんから団体メンバー13人が協力した。

園内に生えるクロマツに高さ19メートルからロープを垂れ下げた。足を掛け、

腕でよじ登った。木陰で風もあつたため、参加者は「気持ちいい」と声を上げて喜んだ。

ギヤスライトさんは「登りきった喜び、葉の音の良さをいつまでも覚えてほしい」と話した。

【安藤聡】